

民間委託後の学校給食について問う

安心・安全な給食の提供に努める



宮本 昭一 議員

平成22年4月から学校給食センターの調理業務と配送業務の民間委託を行ったが、委託後の経過と実情についてどのように評価しているか。

順調に推移している

教育長

委託前は学校の栄養教諭と町の職員が中心となり、この運営については順調に推移してきた。1学期の給食初日と二日目に調理員・配送運転手の不慣れ等もあり若干の遅れが

あったが、その後は定刻通り推移している

何か変化はないか

宮本議員

児童・生徒に安全で安心な給食を提供するという本来の目的からして、民間委託になってから何か変化はないか。

今のところ変化はない

教育長

本来の目的に沿って業務に取り組んでいることは間違いのないと思っており、民間委託に移行した後でも変化があつてはならないと認識している。

どのような点に気をつけているか

宮本議員
学校給食はまず安心・安全が第一であり、

宮本議員

委託後半年経過しているが、今後のことも含めて担当部局としてはどのような点に気をつけているか。

体制が課題

管理課長

臨時職員が給食センターの社員になつている。課題としては極力パートと従業員の入れ替わりがないような体制を、会社側においていくということ考へている。

監視と報告はどのよう

宮本議員

学校給食はまず安心・安全が第一であり、

常に相手任せではなく、発注者側である大崎町の方でしっかりと監視と報告を求める姿勢が何よりも大事であると思うが、教育長はどのように認識しているか。

連絡体制を密にする

教育長

学校給食は教育の一環でもあり、安心・安全な信頼のおけるものを供給、提供していくために、業者の方と担当者を通して連絡体制を密にするということ考へている。

一般ごみ等の現状

宮本議員

関係課等では分別について、パンフや広報誌などで啓発に努め成果をあげていると思うが、一部町民の中には分別が厳しいとか、月一回の収集ではなかなか大変だという声も聞

いている。一般ごみ等の収集の現状についてのどのように認識しているか。

再資源化対策を継続

町長

本町のごみの収集・処理については埋め立て処分を行っている。曾於南部構成事務組合清掃センターの延命化を図るため、平成10年9月から粗大ゴミ等を含む28品目の分別収集を行っている。今後も埋め立てごみゼロを目指し、再資源化対策を継続していく。

収集日の対応策は

宮本議員

核家族化や高齢化が進み、今の取り組み方法についてもいろんな工夫が必要になってくると思う。

今後検討する

町長

曜日ごとにそれぞれの市町の搬入、処理が決められており、収集日を増やすことは施設の処理能力、予算の増額と難しい状況にあるので、今後検討していく。



資源ゴミを持ち寄る町民